

平成29年度長野県長野高等学校全日制 学校中間評価 (保護者・学校評議員・教職員) 9～10月実施

丸数字は保護者からの意見(数字は学年)、○は職員からの意見、☆は学校評議員からの意見を表します。

分野	評価項目	評価の観点	保護者評価					学校評議員評価					職員評価					意見や提言	番号	14	校名	長野高等学校				
			A	B	C	D	U	指標	A	B	C	D	U	指標	A	B	C						D	U		
深い学びの実現 深い学びを目標とした授業の改善と充実	①	生徒の学ぶ意欲とともに思考力・判断力・表現力を育む「深い学び」を目指した授業が実践されている。	180	325	42	20	36	79	1	4				80	12	23	1	0	83	○全ホームルーム教室に電子黒板が設置され、先生方の授業の形が変化してきている。どこかでそれらの情報共有をはかる機会を設けたい。 ○ICTを活用した「深い学び」を全校上げて、さらに研究していく必要があります。楽しく、わかりやすい授業を心がけたい。 ○楽しく、わかりやすい授業を心がけてほしい。生徒の一人一人の可能性を伸ばしてほしい。 ○電子黒板が広く利用されることを希望する。 ☆ICTを上手く活用した、魅力的な授業の展開には常に研究が必要であり、素晴らしい取り組みだと思います。	【学校より】多くの保護者の皆様、学校評議員の皆様は学校評価をしていただき、ありがとうございます。 ①についてICT機器の導入が進んだ点を多く評価していただきました。ICTより「クーラー」の導入については引き続き検討していきます。⑦の学習と班活動の両立について、学校の前期の生活指導アンケートの結果によれば、夜9時以降に帰宅している生徒の数は昨年に比べて大幅に減少しています。②の一斉メール送信システムの導入に、多くの皆様から好意的な評価をいただきました。学年通信も送信してほしいという声もありますが、当面は現状のような運用をしていきたいと思っております。学校へのご要望は、いつでもお気軽にお寄せください。	A	B	C	D	U
	②	保護者や広く地域の方に授業を公開するとともに、本校職員の間でも授業を見あい、授業改善に役立っている。	239	302	31	12	20	83	3	2				90	18	17	1	0	87	○初めての小学校5、6年生対象の学校説明会には200名近い参加者があり、本校の情報発信、授業公開の大切さをあらためて感じた。 ☆小学校高学年になると中学受験について考える家庭が増え、親同士話題になることも多いので、小学生向け説明会はかならず効果があると思います。						
	③	各種試験の位置づけを踏まえ、その結果を教科内で分析し、生徒の学力に応じた指導に生かしている。	184	286	79	23	27	78	2	3				86	10	19	7	0	77	○学力の幅に対応した指導方法をさらに工夫していきたい。 ①データを生徒に返却し学年で分析共有しているのであれば、一定の水準に達していない生徒については補習をするなどしてある程度の水準まで上がるように指導していただきたい。						
	④	最新の高大接続の状況を的確に把握して生徒や保護者に情報提供するとともに、本校の課題に取り組んでいる。	182	319	59	15	24	79	1	4				80	16	17	3	0	84	○SGH事業の取り組みが高大接続システム改革の先取りしている。あらためて新しい時代への対応を積み上げの上に構想していきたい。 ☆学び、大げさに言えば人生はシームレスであることを強く意識した教育の在り方を標榜していく必要性を強く感じます						
	⑤	「大学の先にある社会」を意識しながら文理選択や学部学科選択を行うキャリア教育・進路指導が実践できている。	135	239	100	22	28	76	2	3				86	13	21	2	0	83	○多様な進学先について、生徒・保護者の希望に対応していただけたとありがたい。 ☆SGHの取り組みが社会と深く結びついており、良いキャリア教育になっていると思います。今後も継続していただきたいと思っております。						
主体的活動の充実 基本的な生活習慣・主体的活動の確立	⑥	生徒会や班活動等の主体性を育む教育活動の充実・活性化に努めている。	270	286	24	8	12	85	4	1				96	12	23	1	0	83	②生徒会、班活動はもちろん、学級指導においても、生徒の気持ちを受け止めることを基本にしてほしいと思っております。	選択肢	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分	わからない
	⑦	生徒会・班活動と家庭学習時間のバランスを図り、学習習慣の確立に努めている。	142	313	109	27	16	74	3	2				66	4	26	6	0	74	②テスト前1週間の班活動停止を徹底させてほしい。 ①班活動で学習時間の前に睡眠、食事などを摂ることが難しいです。勉強、班活動よりまずは、健康に生活できることを切望します。 ①大会が多くテスト前でも休みがない。 ①宿題の量が多く睡眠時間が少ないのが心配である。 ②完全下校を19時に徹底してほしい。 ☆勉強の仕方や生活習慣は各自が模索し、環境に対応して確立していくべきものと考えます。テスト前の1週間の班活動停止や19時完全下校など統一ルールが増える傾向に見えますが、生徒各自が自分の志望を見つめ行動を考えるよう指導することも必要だと思います。						
SGH事業の進捗 グローバル人材の育成	⑧	SGH事業のこれまでの実績の上に、グローバル人材を育成するためのカリキュラムの開発と実践に努めている。	209	286	52	17	40	80	4	1				96	17	18	1	0	86	○課題研究や発信型英語能力の育成について、指導方法が整えられてきたことを折々に感じる。下半期では様々な発表のチャンスの活用を目指したい。 ○生徒の成長をみるにつけSGH事業の重要性を感じている。 ②留学生の受け入れとかホームステイなど、身近に感じられるものを取り入れてほしい。 ☆「多様性とアイデンティティ」「和而不同」といった考え方につながる取り組みとして期待しています。	人数	a+b+c+d=n (指標の計算にuは含みません)				
	⑨	SGH事業の指定期間が終了後の「深い学び」を目指すカリキュラムを構想している。	120	289	81	21	89	76	1	4				80	10	19	6	1	77	○SGH指定期間終了後の大きな教育課程の枠組みの構想はできつつあるので、あとはシラバスの整理を行ってほしい。 ☆指定期間終了後のカリキュラム構想の大枠をまた、わかりやすく示していただきたい。		指標	4点	3点	2点	1点
安全・安心な学校づくり 安全・安心な学校づくり	⑩	生徒が互いを尊重し、支え合う集団になるよう指導をするとともに、生徒の安全管理意識を高める指導をしている。	183	336	76	13	18	77	1	4				80	10	24	1	1	80	○自転車事故が長水地区で最も多い学校になっている。係として対策や改善に苦慮している。 ②自転車のマナーが良くないと思います。自分の身を守る指導を家庭・学校で徹底して行うことが重要だと思います。 ☆自転車事故は加害者になってしまうケースの事例も多く、より指導が必要なので今後も継続してまいります。						
	⑪	清潔でバリアフリーの学習環境をつくるとともに、心や身体に悩みを抱える生徒に温かな支援ができています。	191	326	62	13	16	79	1	4				80	16	19	2	0	84	○トイレの洋式化を一層拡充していくことが課題である。 ○特別教室にも電子黒板を導入する必要がある。 ③周辺の学校でも全教室に冷房が設置されている、夏場の学習環境を整えるためにも全教室にエアコンの設置をお願いしたい。 ①トイレの洋式化とエアコンの設置を希望します。 ③エアコンは温度調節が難しいため身体が冷え、扇風機のほうがよいと子どもが言っています。 ☆生徒が自らいづれも気象に相談できる環境が整っていること、信頼関係を築く取り組みを大切にしたい。						
	⑫	保護者や地域の方々の意見に対して迅速に対応するとともに、学校の情報を積極的に公開・発信している。	217	318	42	10	14	82	3	2				90	18	16	3	0	86	○一斉メール配信システムを導入したことにより、北朝鮮からのミサイル発射、Jアラート発動などの事態に、速やかに連絡が取れるようになった。 ③一斉メールにて情報を受け取れるようになってよかったです。以前は事件や災害が起きた時にも不安に思っていました。						